

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	嬉野市立嬉野小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要
 評価項目が精選され、取組が焦点化できた。
 ・コロナ禍にあり、例年通りの活動ができなかったが、オンラインによる集会や曜日や時間を分けて活動時間を設定するなど、できる工夫を重ね教育活動ができた。感染対策は必須であり、さらなる工夫が望まれる。
 ・前年度の課題であった挨拶は、少しずつ良くなっているが、継続して指導を行ってほしい。
 ・働き方改革については、教職員の内面の意識改革と合わせて、会議や校時の在り方など外側の改革も進めていく必要がある。

2 学校教育目標
 「やる気」「笑顔」「元気」いっぱい、未来へかがやく嬉野っ子の育成

- 3 本年度の重点目標**
- ① 豊かな学力の育成、校内研究の推進
 - ② 人権・同和教育、学級経営、特別支援教育、教育相談の充実
 - ③ 健康・体づくり、特別活動の充実
 - ④ 生徒指導の充実、安全教育の推進
 - ⑤ 保護者・地域コミュニティとの連携推進

4 重点取組内容・成果指標 **中間評価** **5 最終評価**

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標 (数値目標)								
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。							
	○学習習慣の育成と定着	○家庭学習の目標時間(10分×学年+10分)を達成した児童80%以上。	・目標時間を達成できるくらいの課題を設定したり、自主学習の取組例などを紹介したりする。 ・家庭学習のノートやプリント、または連携カードなどの振り返りに、取り組んだ時間を記録させることで目標時間を意識させる。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳や人権の学習で学んだことや考えたことを日常生活に生かそうとする児童80%以上	・人権集会や平和集会を行い、児童の人権意識を高める。							
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめの未然防止と早期発見の対応が向上したと感じる職員を90%以上。	・「先生あのねカード」やQUアンケート等を実施し、いじめの早期発見に努める。 ・心のアンケートを実施し、その結果をもとに教育相談を設定して対応を図る。							
	◎ふるさと「嬉野」を愛する心の育成、目標をもち意欲的に取り組もうとする教育活動	○ふるさと「嬉野」や将来に肯定的な回答をした児童80%以上	・地域人材や地域教材を活用した教育活動を実施する。 ・キャリアパスポートを作成し、活用する。							
●健康・体づくり	次の中から1つ以上を選択 ①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童60%以上 ②「健康に食事は大切である」と考える児童80%以上	・昼休みに各学級で週に1回以上外で遊ぶ日を設定する。 ・いずみ朝会等で外遊びを啓発する。 ・フリスビーやミニバレーボールを3年生以上の各学級に配付する。 ・栄養教諭による授業実践を全学級で行う。							
	○あいさつ・無言掃除・廊下歩行の充実	○「あいさつ・返事がよくできる」、「無言掃除ができる」、「教室移動は並んで、無言で移動できる」児童90%以上	・あいさつ運動等を行い児童の意識を高める。 ・無言掃除を徹底するために臨場指導を行う。 ・学校のきまりに沿って2列に並んで無言で特別教室等に移動するように指導する。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の実施 ・毎月の時間外勤務の時間数の概要を知らせて、削減を意識するようにする。							
	○職場環境の整備と職員のけがの防止	○職場環境について肯定的な回答をした職員80%以上	・希望する職員とスクールカウンセラーとの面談の機会を設定する。 ・職場における密の回避、マスク着用、手指消毒の徹底を図る。							

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)								
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関するスキル向上を意識して研修・実践をしている職員を90%以上	・特別支援教育に関する研修を年3回以上行う。 ・特別支援教育コーディネーターを中心に全職員に情報を発信し、共有する。							
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)								
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)								

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望

.

.

.